

觀世流改訂儒本

別四

三笑
鳥返每
藤
水書自被
致占



明治四十三年七月十日印刷
明治四十三年七月十五日發行

訂正者、檢印
ナキモノ、八偽版也

東京市麹町區中六番町二十九番地

訂正兼
發行所

丸

岡

桂

東京市下谷區二長町壹番地

印刷者

塚原錦三郎

東京市下谷區二長町壹番地

印刷所

凸版印刷株式會社



東京市麹町區中六番町廿九番地

發行所

觀古流改訂本刊行會

電話番町二五四四番

四番目

畧脇能

雨月

八月ツレ

住吉明神前翁
西行法師

早第

ヨク

心と来ふ雲水れくやへらう
なるらんこれ漢城の奥はほまひ

まる西行法師まといわれ宿願の仔細

あまより。今ほまは。月夜は。来は。ほり。
いふ。別れ。漢城野の奥を。まき。ちぞ。く。
西より。西に。秋の。空。月を。ゆく。の。ま。る。ま。う。

下 難波の津井浦傳ひつらぬる磯を
呂宋のむらやむのにはあまなり
く 急ぎのむらやむのむらやむ
は着きてゐる。むらやむのむらやむ
ふたつある。むらやむのむらやむ
てふ。あつた目と釣殿の目とあつた
く。あつた目の目とあつた目の目

り宿を借りぎやと思ひの^{ミエ}風枯木^{コボク}
や吹け^フ晴天^{テン}は雨^{アメ}月^{ツキ}平沙^{ヘイサ}を照^テせ^バ
夏^{ナツ}の夜^ヨに霜^{シロ}。それ^レは^ハある^ハは^ハ秋^{アキ}に^ニ定^ニま^ス。
餘^{ヨリ}は堪^タへぬ^ナ半^{ナハ}は月^{ツキ}あ^ハる^ハ面^{オモ}白^{シロ}け^ナり^ニ
か^ハや^ハあ^ハい^ハる^ハは^ハ家^ヤの^ハち^ハへ^ハ業^ノ内^ノ律^{リツ}
し^ハ作^{シテ}て^ハ海^ノの^ハぞ^ハ行^キき^ハ暮^ルれ^ハ
な^ハる^ハ修^{シュ}行^{ギョウ}者^{シャ}と^ハなる^ハ。一^ハ夜^ノの^ハ宿^ノを^ハ出^デか^ハり

いへ^{シテ} 餘^リは^シ 兄^イ 昔^イ 暮^リ 庵^イ として

い^ハ 程^ハ 宿^カ 適^ナ とい^ハ ま^シ 今^ハ 方^ハ 一^ハ さま
へ^ハ 通^ル り^ハ い^ハ の^ハ り^ハ く^ハ と^ハ れ^ハ い^ハ せ^ハ 撫^ハ
て^ハ 人^ハ 痛^ハ ち^ハ け^ハ れ^ハ 入^ハ ら^ハ せ^ハ 踏^ハ へ^ハ ま^ハ な^ハ ぶ^ハ
秋^ハ も^ハ あ^ハ れ^ハ ば^ハ 丈^ハ 婦^ハ の^ハ も^ハ 日^ハ も^ハ 思^ハ い^ハ
雨^ハ も^ハ 待^ハ つ^ハ 心^ハ ば^ハ 暮^ハ き^ハ 暮^ハ り^ハ て^ハ 候^ハ め^ハ る^ハ
軒^ハ 端^ハ の^ハ 草^ハ は^ハ 庵^ハ づ^ハ づ^ハ ば^ハ よ^ハ り^ハ て^ハ 留^ハ ま^ハ

うねるも ヤ 早 早 雨 ウ の ゲ 二つ ツ を 争

ふ フ なる ナ べ ベ 日 ヒ づ ヅ れ レ ぞ ゾ 雨 アメ づ ヅ る

娘 ムスメ も モ と ト なる ナ 日 ヒ は ハ 愛 アイ ぞ ゾ 板 イタ 向 ムカ も モ 惜 オソシ

と ト 軒 ケン を ヲ 葺 フキ る キ も モ お オ ほ ホ ち チ ゐ ヰ 秋 アキ け ケ 村 ムラ

時 トキ 雨 アメ 本 ホ け ケ 茶 チャ を ヲ 濡 ヌル る キ 日 ヒ も モ ぞ ゾ も モ 音 ネ づ ヅ る

よ ヨ ぞ ゾ 軒 ケン 端 ハタ 葺 フキ る キ も モ お オ ち チ 日 ヒ 影 カゲ

く ク 村 ムラ 雨 アメ 定 サダメ め メ なる ナ 身 ミ づ ヅ け ケ 後 ノチ も モ い

までも 賊^{シテ}が軒端^ニを暮^ニきぞわづ
ら^ニ 賊^ニが軒端^ニを暮^ニきぞわづら^ニ 面^ニ
白^{カミ}まなもち教^ニの^ニ下^ニける^ニなり^ニ 沈^ニ上^ニ

の^ニる^ニやづる^ニを^ニお宿^ニの^ニ惜^ニみ申^ニを
ま^ニ 早^ニも^ニこ^ニより^ニわ^ニれ^ニも^ニ和^ニ教^ニの^ニ心^ニ其^ニ裡^ニ
と^ニあ^ニも^ニい^ニち^ニつ^ニる^ニ月^ニに^ニ漏^ニれ^ニ雨^ニな^ニま^ニれ^ニと^ニ
と^ニあ^ニく^ニな^ニ 賊^ニが軒端^ニを暮^ニきぞわづ

夕。日へ漏れ雨なまれとさあぐ
る。賤が新端と暮きぞあつる。面
む。わらの茶や。げは。理も。深も。夜の日と
も。思ひ。雨と。さ。厭さぬ。な。ま。ど。な。た
へ。せ。ほ。く。や。夢。折。も。秋。ま。る。く。
三五夜中の新ぼけ。二千里外まで
も。心。知ら。る。も。秋。の。室。雨。は。又。満。洲。の。夜。

の哀ぞ思さる。のう村雨はさふ
月^{シテ}は村雨の何なるぞや。素里^{トオサト}ふ野れ
光^{シカ}さる。よしく聞け。時雨なぞ。
更け行くまゝは風の軒端に松
は。ゆきまゐるぞや。雨^上とてあり
けり。お夜の光にゆきまゐるぞや。中
室に住まひ。所あるは月も見え。

雨も同けと云く。園の軒端の松れ
門。いれまけ。岸あつ浪も程也。
假寝の夢もいならん。あゝそも旅
枕さても夢いなるもあどいさく
碇うたりふいさく碇うたりなほ浮せ
の業と賤の女。凡そそ衣摺つ。
牙け為さるもあど。秋の怨みれ小夜

衣ゴモのニちイてイふト、一のニて上、
せぬ水も時雨も。木の葉は雨の音
信ヅレは。毛モは。浸シも。いと深フカき心ココロを。そめて
色イロの。木キの。葉エフは。油アブラの。上ウエ露ツキも。宿ヤス
ま。月ツキ影カゲ。重オモわ。て。落オチつ。も。又また。ち。葉エフの。
色イロは。も。ま。ら。ち。ち。ひ。ち。の。積ツキり。木キは。
葉エフも。も。集ツミの。雨アメは。石イシ。残ノコり。と思おもちん。

ニテ白

下カレ

ツク

た夜も更けたり旅人も休まず

うもさより祈る。野も津守れふ

尉なれども青木老衰の眠深き夢

あへる古へイシ松根枕して共よき

やまごころまん史出端あふ面白け御侍

やま陰陽ニヨこつれ道を守る。そめるを

あつて五斛モツも木火ボお金水あり。

天ノ別ち天地人の三才とれ保

命ある。あれと作る思ふ。素

くも西の海あまの原の使向より

現れしぞ。伊まね 神位ふ。疑

まぎれ。そもく。此神の因位と尋

ねなる。昔の境幸れ。内院よりて。

萬貴徳王善菩薩と号し。今又玉

垣のちれ國は跡を垂れ和教を守
りて佐の江や松林の下は佐んで久
く霜を送る。うは和教人稀
ある處は西行法師歩みと運び給
ひ心を遠くある和教に友とて和教に
受垂れ給ふとれよ。つて神慮の程
と知しめんと。臣補が領は棄りう

つる。護^ゴ上^{カミ}。再^{マタ}拜^{ヒライ}。真^{マコト}序^{コト}。あ^アら^ラが^ガた^タれ^レ影^{カゲ}
向^{ムカ}や^ヤ。返^{マゼ}き^キ心^{ココロ}も^モ位^イ吉^{キチ}の^ノ片^{カタ}ら^ラつ^ツ波^{ナミ}
も^モ松^{マツ}凡^{マン}も^モ。風^{フウ}も^モ鈴^{スズ}の^ノ聲^{コエ}で^デい^イま^マれ^レ
被^{フキ}の^ノ音^ネ。和^ワ歌^カの^ノ係^{ケイ}分^{ブン}舞^{マユ}れ^レ袂^{タビ}も^モ同^{ドウ}
く^ク心^{ココロ}す^ス採^{サイ}は^ハあ^アさ^サる^ル。其^{ソノ}門^{カド}等^{トナリ}
一^{ヒト}り^リけり^{ケリ}。と^トれ^レも^モあ^アる^ルを^ヲ今^{イマ}の^ノま^マに^ニ
疑^{ウタガ}も^モぞ^ゾ和^ワ院^{イン}の^ノ御^ミぐ^グへ^ヘと^ト木^キ鈴^{スズ}由^ユ